オールマウンテン復活山行第２弾

加賀　砂御前山（１，３２６ｍ）

２００８・３・９

Ａ名　Ｔ　Ｎ

パウダーねらいも２月まで、もうすっかり春スキーになった。山もスキーも仲間と行くと楽しいが、Ａ名さんは相変わらず多忙で、現地参加と言う。仕事で小松に行って、その足で山スキーだなんて羨ましい。道具を大阪から運んでくれと虫のいいこと。昼の２時に市内のＡ名宅、３時に交野のＴ宅で車を乗り換え、６時、福井でＡ名さんを拾うことに。ほぼ定刻通りだった。谷トンネルを抜け白峰に着き、車中で宴会して早々に就寝。

翌、天気は最高。車を桑島の総湯に移動。７：１５百合谷の橋を渡り、林道をシールで登る。昨日のトレースがあったものの、今日は我々だけのようだ。どこまでも続く林道、できればショートカットしたいところ。遅れていたＡ名さんがショートカットして追いついて来た。それにしても昨年のＡ名さんとちょっと違うなあ。体重オーバーと運動不足でなかなか着いて来なかった彼が追い着いてきた。一念発起して自宅近くの大阪城でランニングに励んだらしい。

砂御前山は単純に尾根を登り上げるのでなく複雑だった。私は高みがあればとにかくそこをめがけて突き進む癖がある。上に行けば何とかなると思う。ところがそれで時々失敗する。今回も目的の砂御前の手前で上りあげすぎて、行き詰まり、無駄な労力を使う。谷を越えて次の尾根に取り付き、一度台地に出てから尾根を詰めるのが正解だった。頂上まで５時間もかかった。例の早川氏の半日コースである。頂上一帯は広く、間近に白山の連山が真っ白に輝いていた。

シールをはずして記念撮影をして滑降開始。ところが毎回の事であるがうまく滑れない。足を固定されて身動きが取れない。足がまだ登りモードから滑降モードに変わっていないのだ。どこでも大抵そうだが、頂上直下が滑降に一番いいところだが、なんでもないところで転倒する。なんと革靴のＡ名さんがきれいなシュプールを描いてカメラで撮れと言う。あっという間に台地だ。台地でゆっくりランチタイム、私はこっそりビアタイム。そこから藪が多くなり、快適と言うほどでもないが滑降を楽しむ。あっという間に林道に出た。ショートカットをしても長い林道だった。総湯で汗を流す。

堅豆腐を買って、大野で名水を汲んで湯豆腐の準備ができた。交野でＴの奥さんにおいしい

釘煮を頂き、晩のご馳走が揃った。